

楽しみながらエコな生活を

10月27日 リサイクル祭り in 伊豆の国 2012

リサイクル祭りを葦山時代劇場で開催しました。今年のテーマは、『もったいにやあで、ごみから資源に』。ごみに出された不用品を再使用するなど、身近なところから環境を考えるきっかけとなったでしょうか。

メイン会場であるひだまり広場は、フリーマーケットやリサイクル品の配布などに並び人で大にぎわいでした。そのほか、生ごみを利用した野菜づくりの講演や農土香たい肥の配布も人気を集めていました。



一日の始まりは明るいあいさつから

11月2日 早朝あいさつ・声掛け運動を実施

『子ども・若者育成支援強調月間』に合わせ、園児や小中学生を対象に『早朝あいさつ・声掛け運動』を実施しました。この運動は年2回、「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に、青少年育成会を中心として区やPTA、学校など多くの人の協力を得ています。

「おはよう、いってらっしゃい」などの明るい元気な声が飛び交うまちを目指し、今回は約1,000人の市民が参加しました。

下駄を履き、多彩な演技を披露

11月11日 下駄ダンスコンテスト開催

今年で第7回目となる下駄ダンスコンテストが、長岡総合会館アクシスカつらぎで行われました。下駄を履いて演技を競う同コンテストには、市内外から11組が参加。優勝を目指して多彩な演技が披露されました。

外会場では『温泉まんじゅう祭』も同時開催され、市内の温泉まんじゅうをセットにした詰め合わせのほか、焼津の味噌まんじゅうなどが店頭並びました。



楽しく学ぼう、防災知識

11月11日 消防フェスタ 2012 を開催

防災に対する意識の高揚と、消防団の活動を多くの市民に理解してもらおうと、消防フェスタ2012を葦山時代劇場を会場に開催しました。

消防団は、ポンプ車操法やポンプ車綱引きなどで来場者と積極的に交流し、日ごろの活動をアピールしました。また、田方消防によるはしご車乗車や大仁警察署による白バイ乗車など、子ども向け体験イベントが数多く催され、会場は元気一杯の子どもの声でにぎわいました。

反射炉の新たなイメージを創造

10月13日 歴史探訪坦庵フェア 2012 を開催

世界遺産登録を目指す葦山反射炉で『歴史探訪坦庵フェア 2012 葦山反射炉世界遺産への創造』を開催しました。反射炉前の特設ステージではさまざまなイベントが繰り広げられ、多くの来場者でにぎわいました。

同イベントは、『勇壮(昼の部)』と『幻想(夜の部)』に分けて開催。幻想(夜の部)では、普段見ることができないライトアップされた反射炉を前に、演奏や踊りなどが披露され、会場は幻想的な雰囲気になりました。



大仁小1年生の下校に同行

10月18日 防犯キャンペーンを実施

地域の皆さんと児童自身の安全確保に対する意識の向上を目的に『登下校みんなを見守る地域の目』推進キャンペーンを大仁小学校で実施しました。

同校1年生の集団下校に、民生児童委員や市交通指導員、大仁警察署関係者、市職員らが同行し、児童に対し安全な歩行方法の指導や子ども110番の家の確認などを行いました。子どもたちが安全で安心して生活できるよう、地域の皆さんもご協力をお願いします。



宇宙の不思議に子どもたち興味津々

10月27日 JAXA 職員による読書講演会

宇宙航空研究開発機構(JAXA)の職員を招き、『宇宙って、どんなところ?』と題した講演会を、中央図書館で開きました。アニメの影響もあり、宇宙に興味を持つ多くの子どもたちが参加。子どもたちは、宇宙の不思議や環境についての話に真剣に耳を傾けました。

講師を務めた佐々木一義さんは、用意したスライドや動画を使って「宇宙飛行士の日」や「宇宙飛行士になるには」などをわかりやすく説明しました。

『ぼく・わたしのたからもの』を創作

10月27日 市子連交流事業を実施

市内の子ども会交流、異学年交流を目的に、伊豆の国市子ども会連合会主催の『第7回みんなで遊ぼう!!』貼り絵大会が長岡体育館で行われました。

今年は市内子ども会15チーム、約160人の小学生が参加し、色紙をちぎって下絵に貼る、貼り絵に挑戦しました。今年のテーマは『ぼく・わたしのたからもの!!』ということで、家族や命、葦山反射炉、富士山などの作品が仕上がりました。

